

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	衆議院議員選挙事業				会計	款	項目	大	小	
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的に行財政運営（行政の充実）			01	02	04	06	02	01
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営			主管課	選挙管理委員会事務局				
					主管課長	鈴木 忠				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	当日有権者	意図	衆議院議員選挙の執行を適正に行う。
事業内容	衆議院議員総選挙の執行にあたり、投開票事務に誤りがないよう、適正な執行と管理を行う。 選挙人が投票しやすい環境を整える。			
事業開始から現在までの状況変化	平成26年11月16日に衆議院が解散され、平成26年12月14日に衆議院議員総選挙が執行された。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	当日有権者数	135,595		138,815	
②	投票率	62.62		55.96	%	↓↓↓	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・11月16日に解散、12月14日に選挙と期間が少ない中での準備となった。 ・区画整理により有権者数が増加傾向にある。 ・投票率は、前回比△6.66ポイントとなっている。 ・有権者数が大きく増加する投票区は、選挙人の利便性を考慮し、分設が必要である。 ・事業費は、前回（H24.12.16）48,647千円と比較し、3,141千円減額となった。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		55,358,698		48,521,099			
事業費(b)(円)		48,646,418		45,505,313			
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		6,712,280		3,015,786			
人役・職員(人)		0.90		0.40			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.23		0.23			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	突発的な解散による総選挙であるため、投票区の設定は行わず、選挙を適正に執行する。	③取り組みの課題	有権者数の多い投票区の設定が必要である。投票率は、本市だけでなく、全国的に見ても低下傾向にある。
②今年度(H26)に実施した取り組み	時間が少ない中での準備、執行となったが、自治会や指定管理者、職員等の協力により、無事に選挙を執行することができた。	④今後の改善計画	有権者数の多い投票区の設定及び組み替えを行う。